

平成 25 年 10 月 28 日（月）

第 3 校時 [10:50～11:40]

指導者 教諭 野口 聡子

第 3 学年 7 組 芸術科「美術 I」学習指導案

1 題材名 『木彫 野菜・果物の彫刻 ―木にいのちを与える―』

2 題材について

（1）生徒の実態について

本校では、全員が美術 I を第 3 学年で履修する。美術が苦手な生徒もいるが、課題に真剣に向き合い、こだわりを持って制作する者が多い。1、2 年生で美術の授業がないことから、本題材で立体作品をつくることは、高校生活で初めての体験であり、木彫の基礎的な能力が十分身につけていない実態がある。3 年 7 組はデッサンや模写の授業に、真面目に意欲的に取り組む生徒が多かった。彼らのエネルギーが作品に活かされるようにしたい。

（2）題材観

本題材は、ヒバの角材から野菜や果物の形を彫りだす、木彫に取り組む題材である。対象をしっかり捉えて美しい形を追求し、木にいのちを与える制作を通して、木彫に関する創造的な技能と鑑賞の能力をつけるようにするのがねらいである。制作の主な手順は、どのような作品にするのかイメージを膨らませてのデッサン、材料の切り出し、木に形を描き入れての荒彫り、細部の調整、必要に応じた彩色である。仕上がった作品は自己評価し、また、発表することで互いの生徒の作品も鑑賞する。

（3）指導観

本校では、美術の学習を、3 年次の 1 年間でしか行うことができない。この間に、美術に対する興味・関心を引き出し、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるために、ものを見る力を養う基礎である鉛筆デッサンから、色についての知識、作品鑑賞、そしてそれらの応用である模写の授業を行ってきた。また、生徒それぞれに得意・不得意な題材があるので、平面だけでなく立体の題材も取り入れ、題材に変化を出せるよう考慮してきた。多くの生徒にとって最後になるであろう本題材の作品が、完成に至る過程で出会う様々な苦労を乗り越えて、大切な宝物になるように指導していきたい。

（4）対応する学習指導要領の指導事項

A 表現 （1）絵画・彫刻

- ア 感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成すること。
- イ 表現形式の特性を生かし、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練ること。
- ウ 意図に応じて材料や用具の特性を生かすこと。
- エ 表現方法を工夫し、主題を迫及して表現すること。

B 鑑賞

- ア 美術作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、理解を深めること。

3 題材の目標

木にいのちを与えるというテーマを基に、対象をしっかり捉えて美しい形を追求しようとし、表現形式の特性を生かして創造的に表現するとともに、他の生徒の作品のよさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り味わう。

4 題材の評価規準及び学習活動に即した評価規準

(1) 題材の評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
表現 「木にいのちを与える」というテーマを基に、対象をしっかりと見つめて表現することに関心を持ち、美しい形を追求しようとしている。 鑑賞 他の生徒の作品の表現に関心を持ち、主体的に作品のよさや美しさを感じ取り、作品などについて理解を深めようとしている。	「木にいのちを与える」というテーマを基に、自分の作りたい形を見つけ、表現材料の特性を生かして、形体、色彩、質感などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。	意図に応じて材料や用具の特性を生かし、的確な表現方法で安全に主題を追求し表現している。	他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の意図と表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。

(2) 学習活動に即した評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
表現 関① 「木にいのちを与える」というテーマを基に、対象をしっかりと見つめて表現することに関心を持ち、形、仕上げる質感、色など創意工夫して美しい形を追求しようとしている。 表現 関② 技法や材料、用具の特性や効果を主体的に活かし、表現方法を創意工夫しながら主題を迫及して表現しようとしている。 鑑賞 関③ 他の生徒の作品の表現に関心を持ち、主体的に作品のよさや美しさを感じ取り、作品などについて理解を深めようとしている。	発① 「木にいのちを与える」というテーマを基に、自分の作りたい形を見つけイメージを膨らませている。 発② 表現材料の特性を生かして、形体、色彩、質感などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。	創① 技法や材料、用具の特性を理解し、目的や意図に応じて順序よく安全に効率的に制作している。 創② 表現したい意図を大切にして、より効果的な表現方法を選択・活用するなど創意工夫し、主題を迫及して丁寧に表現している。	鑑① 他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の意図と表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。

5 指導と評価の計画（10時間）

学習のねらい、学習活動 ※「●」は、学習のねらい 「・」は、学習活動	学習活動に即した評価規準				評価方法、留意点等
	関	発	創	鑑	
1 課題の把握と構想（1時間） ●課題について理解をし、関心を持つ。 ・木彫の作品を鑑賞し、題材（野菜・果物等の彫刻）について、平面作品と立体作品の違いや、木で作る意味などについて考える。（木彫作品の鑑賞） ●主題を生成する。 ・モチーフのイメージを言葉で表現して主題を生成する。 ・モチーフを様々な角度からデッサンして、形、色、仕上げなど工夫して構想をまとめる。	↓ 関①	↓ 発① ↓ 発②			〈美術への関心・意欲・態度〉 関①・題材に関心をもてるように、鑑賞のプリントや実際の作品を見せ、最後の作品になることを強調し、生徒の関心や意欲が高まるように指導する。【観察・表現】 〈発想や構想の能力〉 発①・作りたいものの形だけではなく、質感、重さ、匂い、色など様々なイメージを言葉で書かせる。【表現・対話】 発②・ここでデッサンが上手くできないと、その後の政策に重要な影響を与えるので特にデッサンが上手く描けない生徒にはアドバイスをしたり、手伝ったりする。【作品・表現】
2 制作（8時間） ●構想を基に自分の表現意図に合う表現方法を工夫する。 ・技法や材料、用具の特性や効果を考え、それに応じた用具を吟味して使い制作をする。 （材料の切り出し、形を描く、荒彫り） 4時間 ●主題を追求し、表現を深める。 ・主題を追求し、表現方法を工夫しながら制作をする。 （細部を整える、彩色、仕上げ） 4時間	↓ 関②	↓ 発②	↓ 創① ↓ 創②		〈美術への関心・意欲・態度〉 関②・表現の目的や意図に応じて、木材や用具の特性や効果を生かそうとしたり、より効果的な表現方法を工夫しながら主題を追及して表現しようとしているかを見取る。【制作の様子】 〈創造的な技能〉 創① 創②・前半は表現の目的や意図に応じて、適切な用具や技法を使って表現できているかを見取り、難しい生徒には指導を行う。制作が進んだ段階では、創意工夫し、主題を追及して表現しているかどうかを見取り、完成に近づいた段階で評価を確定していく。【制作途中の作品】
3 鑑賞（1時間） ●他者の作品から、作者の主題、意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、理解する。 ・自分の作品について構想した表現意図の説明を記述し、発表する。 ・相互に作品を鑑賞し、批評し合う。 ・他の生徒の作品のよさや美しさ、作者の表現の意図と工夫をワークシートにまとめる。	↓ 関③			↓ 鑑①	〈美術への関心・意欲・態度〉 関③・鑑賞への関心をもっているか、真面目に説明を記述しているかを見取り、鑑賞への意欲が高まらない生徒を指導する。【鑑賞の活動の様子】 〈鑑賞の能力〉 鑑①・他者の作品について自分の意見を述べているか、造形的なよさと美しさ、表現の面白さなどを感じ取っているかどうかを見取る。【ワークシート、発言内容】

〈授業が終了後〉 【デッサン等からの評価】 【完成作品等からの評価】 【ワークシートなどからの評価】		発②	創① 創②	鑑①	発② 創① 創②の評価では、完成作品やワークシート等から再度評価し、授業内での評価を確認し、必要に応じて評価を修正する。
---	--	----	----------	----	--

6 本時の学習（1／10）

（1）目 標

- 「木にいのちを与える」というテーマを基に、対象をしっかり見つめて表現することに関心を持ち、形、仕上げの質感、色など創意工夫して美しい形を追求しようとしている。 **関①**
- 「木にいのちを与える」というテーマを基に、自分の作りたい形を見つけイメージを膨らませている。 **発①**
- 表現材料の特性を生かして、形体、色彩、質感などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 **発②**

（2）準 備

- ・ 教 師
作品鑑賞用ポスター・プリント、過去作品、木材（ヒバ）、定規、のこぎり
- ・ 生 徒
モチーフ（果物か野菜）、作業着、教科書、鉛筆、スケッチブック

（3）展 開

	◎学習ねらい ◇学習活動	指導の工夫	評価と手立て [◎：十分満足できる状況] [■：C判断生徒への手立て]
導 入 20 分	◎本時の学習内容を把握する ◇一木彫りの仏像・船越桂の作品・果物の作品を鑑賞し、木彫の学習に関心を持つ。 (教科書 p35,37、プリント2枚)	- 大きな板書を行って、本時の学習内容を説明する。 - 教科書の内容を説明し、木にいのちを与える、というテーマを強調する - 過去作品を紹介しながら木彫の特徴について説明する。	関① ・表現への意欲や態度 【観察・表情】 ◎こだわりを持ってモチーフを選び、過去作品を実際に手にとって観察するなど、高い関心を持って作品作りに挑もうとしている。 ■参考作品を見せたり、最後の作品であることを強調したりして、関心を持たせる。
展 開 25 分	◎主題を生成する。 ◇表現したい意図を明確にするため、モチーフのイメージ、作る上で大切にしたいことを言葉にして、作品の主題を考える。	- どのような作品にしたいかを考えることが、重要であることを伝える - 作品の題名をつけさせる。何人かの題名を取り上げて、その主題とともに紹介する。	発① ・表現したいイメージを膨らませ、言葉にしているか。 【表現・対話】 ◎モチーフから想像できるイメージを言葉に置き換え、自分が何を一番大切にして制作していきたいかを明確にしている。 ■イメージを言葉にする際の具体的なヒント（味はどうか、色、形、重さ、触感から浮かんでくる言葉はないか、など）を与え、考えさせる。

	◇様々な角度から見たモチーフを実寸でスケッチブックにデッサンする。	・形の特徴をとらえ、正確に描けるように、黒板に三面図の描き方等を示す。 ・描き方が分からない生徒には、個々に応じたアドバイスをする。	発② ・立体としてのイメージが描けている【作品・様子】 ◎自己の主題を明確にもち、よりよく表現するために、どの工程においても工夫して表現の構想を練っている。 ■どのように作りたいのかを問いかけ、ヒントを与えながら、各工程において必要な構想をその都度練らせる。
まとめ 5分	◎本時の学習内容を振り返る ・制作の内容、進み具合を各自で確かめる。 ・次回の学習課題を知る ・片付けをする	・一人一人が学習状況を確認できるように、活動を振り返る視点を示す。 ・本時の評価をするとともに、次回の内容と課題を示す。 ・スケッチブックの片付け方を確認する。	

7 備考

(1) 在籍生徒数 27名

(2) 特記事項 3年 7組 建築科

8 本題材における「学習活動に即した評価規準」及び「十分満足できる」状況(A)と「努力を要する」状況(C)と評価した生徒への指導の手立て

〈美術への関心・意欲・態度〉

学習活動に即した評価規準		◎「十分満足できる」状況(A)と判断した具体例 ■「努力を要する」状況(C)と判断した生徒への指導の手立て
関①	「木にいのちを与える」というテーマを基に、対象をしっかりと見つめて表現することに関心を持ち、形、仕上げの質感、色など創意工夫して美しい形を追求しようとしている。	◎こだわりを持ってモチーフを選び、過去作品を実際に手にとって観察するなど、高い関心を持って作品作りに挑もうとしている。 ■参考作品を見せたり、最後の作品であることを強調したりして、関心を持たせる。
関②	技法や材料、用具の特性や効果を主体的に活かし、表現方法を創意工夫しながら主題を迫及して表現しようとしている。	◎仕上げをどうするか(表面の処理、色づけ)などよりよい表現方法を目指し、常に意欲を持って工夫しながら主題を迫及しようとしている。 ■生徒が表現しようとしていることを確認し、材料や用具の特性を説明したり、いくつかの材料や用具の中から選ばしたりして表現のイメージを持たせ、主題を迫及する意欲を高める。
関③	他の生徒の作品の表現に関心をもち、主体的に作品のよさや美しさを感じ取り、作品などについて理解を深めようとしている。	◎様々な視点から積極的に作者の心情や意図と表現の工夫を感じ取ろうとしている。 ■鑑賞の際の展示に工夫をし、よりよく作品が見えるようにして、また個別に説明したりして、鑑賞への関心を高める。

〈発想や構想の能力〉

学習活動に即した評価規準		◎「十分満足できる」状況（A）と判断した具体例 ■「努力を要する」状況（C）と判断した生徒への指導の手立て
発①	「木にいのちを与える」というテーマを基に、自分の作りたい形を見つけイメージを膨らませている。	◎モチーフから想像できるイメージを言葉に置き換え、自分が何を一番大切にして制作していきたいかを明確にしている。 ■イメージを言葉にする際の具体的なヒント（味はどうか、色、形、重さ、触感から浮かんでくる言葉はないか、など）を与え、考えさせる。
発②	表現形式の特性を生かして、形体、色彩、質感などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。	◎自己の主題を明確にもち、よりよく表現するために、どの工程においても工夫して表現の構想を練っている。 ■どのように作りたいのかを問いかけ、ヒントを与えながら、各工程において必要な構想をその都度練らせる。

〈創造的な技能〉

学習活動に即した評価規準		◎「十分満足できる」状況（A）と判断した具体例 ■「努力を要する」状況（C）と判断した生徒への指導の手立て
創①	技法や材料、用具の特性を理解し、目的や意図に応じて順序よく安全に効率的に制作している。	◎技法や材料、用具の特性を理解し、道具を正しく使い、制作の目的や意図に応じて安全に効率的に制作している。 ■技法や用具の特性を丁寧に説明し、表現方法について具体的に提示するなどして考えさせる。
創②	表現したい意図を大切にして、より効果的な表現方法を選択・活用するなど創意工夫し、主題を追及して丁寧に表現している。	◎多様な視点からより効果的な表現方法を考え、的確に選択・活用し、主題を追及して表現を深めている。 ■表現方法について色々な選択肢を提示し、自分に合った表現を追及させる。

〈鑑賞の能力〉

学習活動に即した評価規準		◎「十分満足できる」状況（A）と判断した具体例 ■「努力を要する」状況（C）と判断した生徒への指導の手立て
鑑①	他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の意図と表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。	◎他の生徒の作品に対する明確な考えをもち、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、理解している。 ■それぞれの作品の特徴的な部分や良くできているところを紹介し、他の生徒の作品について興味を持たせる。

<参考> 生徒作品



しめじとエリンギ



わさび



アボガドとグレープフルーツ



長ネギ



バナナ



ジャガイモ、ピーマン、にんじん



りんご (左: 桂 右: 米ヒバ)



りんご・齧られたりんご



もやし



かぼちゃ



ドラゴンフルーツ



剥いたバナナ

展示の様子
(校長室の前の廊下)

